

第2学年2組 特別活動（学級活動）学習指導案

学 校 名 雲南市立三刀屋中学校

令和元年12月4日（水）第5校時

1 題材名

よりよい学校生活を送るために、家庭での過ごし方について考えよう

2 題材について

1) 題材設定の理由

本題材は、学級活動「(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全の「エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成」に関する内容である。この内容は、自分の健康や安全に関する問題を把握し、必要な情報を収集し、課題解決に向けた意志決定とそれに基づく実践などの活動が中心となる。

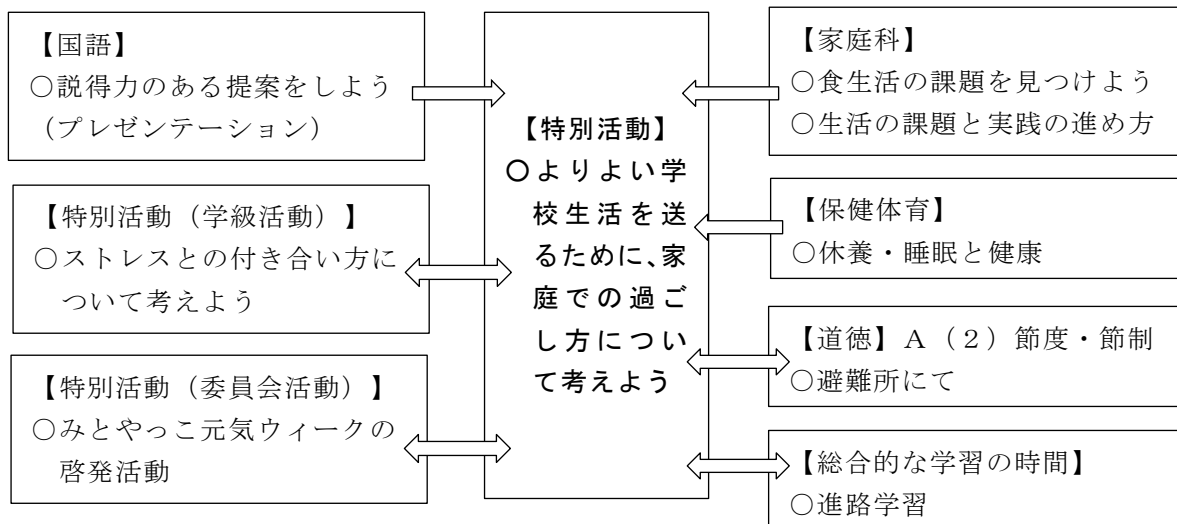
本校の生徒が抱える健康上の問題点として、「長時間の電子メディア接触からくる頭や体の疲れ」が挙げられる。本校独自で作成、実施している「学習と生活アンケート」では、授業に集中できにくい生徒が学校全体で37%いること、その理由として、「頭や体が疲れている」と回答した生徒が28%いることが分かった。また、平日の電子メディア使用時間が2時間以上の生徒が38%、うち3時間以上の生徒が12%いることも明らかとなった。このことから、家庭での過ごし方が授業への集中力にも大きく関係することが考えられる。特に、2年生は頭や体が疲れていると回答した生徒が、他の学年に比べると約20%高かった。2年生は卒業後の進路を具体的に考え始める時期である。今後進路決定をしていくにあたって、自身の生活を見直すことが重要であると考え、本題材を設定した。よりよい学校生活を送るために、家庭での過ごし方について考えることで、元気に活力ある学校生活を送ることができるということに気づき、今までの生活について見直し、心身ともに健康な体をつくるためには何をどう改善すればよいのかを考える機会としたい。そこで、家庭での生活で特に課題として挙げられる、「睡眠」「食事」「電子メディアとの付き合い方」という3つのポイントを提示する。

この3つのポイントについて必要な情報を収集し、整理してまとめるという学習活動は、国語「説得力のある提案をしよう（プレゼンテーション）」の授業で行う。学校図書館を活用して情報収集する活動との横断的学習を行うことで、生徒自身が自らの健康管理について、理解と関心をより深めることにつながると思う。将来の自己実現に向けた望ましい生活習慣の形成や自己管理能力の育成を図ることが、生涯に渡って豊かで幸せな社会生活を送ることにつながると思う。

本時の授業は、生徒が家庭での過ごし方について自らの課題に気づき、班での話し合いの中で解決方法を見つけ、最終的に個人目標を決定するという流れで展開する。指導については、学級担任と養護教諭でティームティーチングを行う。担任は、生徒が見通しをもって学習を進めることができるよう「流れ」を提示したり、班での意見交換が円滑に進むよう、話し合いのやり方を示したりする。養護教諭は、生徒が自分の家庭生活をしっかりと振り返ることができるよう「みとやっこ元気カード」を準備したり、生徒の思考が深まるよう、図書館資料を基にまとめた情報に追加する形で、専門知識を生かした情報を提示したりする。授業後には、各自決定した目標に基づいて5日間生活し、

ワークシートを用いて振り返り活動を行う。その後も実践を継続できるよう、保健だよりや生徒への個別の声かけ等を通して指導をしていく。

2) 教科横断的な指導について



3 指導のねらい

- 睡眠、食事、電子メディアとの付き合い方について、それぞれの重要性を科学的に理解することができる。
- 家庭での過ごし方について、自己の課題に気づき、解決方法を考え、継続して実践することができる。

4 評価の視点と本実践における評価規準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	話合いや実践を通じた思考・判断・表現	生活や人間関係をよりよくしようとする態度
家庭生活上の課題として挙げられる睡眠、食事、電子メディアとの付き合い方それぞれの重要性を科学的に理解するとともに、課題の解決方法に関する知識や行動の仕方を身につけている。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの解決方法を意志決定し、実践している。	学校生活をよりよくするために、家庭生活における課題の解決方法について、意欲的に考えようとしている。

5 事前の指導

期日	活動の場	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
11月18日 (月)	学年終礼	<ul style="list-style-type: none"> ・学年全体としての家庭生活上の課題について知り、自己の課題について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校独自のアンケートや「みとやっこ元気ウィーク」等の結果から、自らの生活を見直す必要があることを実感できるようにする。 ・特に課題となる睡眠、食事、電子メディアとの付き合い方についての実態を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの課題と情報収集するポイントを理解している。【観察】
11月19日 (火)～ 12月2日 (月)	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい学校生活を送るための家庭生活上の課題となる睡眠、食事、電子メディアとの付き合い方について、改善が必要であるという科学的根拠を、図書館を活用し収集する。 ・調べた情報をまとめ、資料を活用して班ごとに提案発表する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料等を活用して、情報収集している。【観察、情報カード】 ・情報を整理し、説得力のある提案を組み立てている。 ・資料を効果的に活用して伝えている。【資料、観察、情報カード】

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

自らの生活について振り返り、家庭生活をよりよくするための具体的な自己目標を、他者の意見を参考にしながら設定することができる。

(2) 展開

分	生徒の活動	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
5	1. 本時の学習内容を確認する。	・本時の学習に見通しがもてるように、めあてと活動の流れを示す。(T1)	
家庭生活上の課題に気付き、それを解決するための具体的な目標を考えよう！			
10	2. 国語での提案内容について、確認する。	・事前の指導で実施した、睡眠、食事、電子メディアについての提案内容をおさえる。(T1) ・生徒の提案内容に不足している科学的根拠について、補足をする。(T2)	
10	3. 「みとやっこ元気カード」等を参考にし、自分の生活を振り返り、課題とその理由を考える。	・机間支援をしながら、専門的な立場から助言をする。(T2)	・自分の課題に気づくことができる。 【ワークシート】
10	4. 班で自分の課題とその理由を発表し、お互いに解決方法についてアドバイスをし合う。	・なぜその方法がよいのか理由も添えてアドバイスができるよう説明する。(T1)	・話し合い活動に参加することができる。 【観察】 ・アドバイスを書くことができる。【ワークシート】
5	5. 他者の意見を参考にし、自分の目標について考える。	・机間支援をしながら、具体的な目標となるよう助言をする。(T2)	・自分の課題を解決するための目標を考えることができる。【ワークシート】
5	6. 自分の目標を実践する活動について知る。	・5日間実施するワークシートについて説明をする。(T2)	
5	7. 振り返りを書く。		

7 事後の指導

期日	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
12月5日(木) ～9日(月)	・自己決定した目標に基づいて5日間生活をし、ワークシートを使って振り返りを行う。	・実践を継続できるよう、保健だよりや生徒への個別の声かけ等を通して指導する。	・自己決定した目標に向けて、進んで取り組んでいる。 【観察、ワークシート】

8 研究の視点

図書館を活用して睡眠、食事、電子メディアとの付き合い方に関する情報を収集する活動は、生徒が家庭生活をよりよくするための具体的な自己目標を考えるのに効果的であったか。

9 授業及び研究協議の概要

国語科での、図書資料を根拠にし、説得力のあるプレゼンテーションを行う学習を土台にして、よりよい学校生活を送るために、家庭での過ごし方について考える活動を公開した。

教科横断的な取り組み、担任と養護教諭によるTT授業、生活調査の活用など、さまざまなチャレンジが含まれていた。教科横断的な内容が活かされ、理論的な提案やアドバイスにつながっていた。家庭での実践につながる活動となっていた等の意見が出た。